

産業廃棄物処理計画書	
平成 29 年 6 月 日	
枚方市長 殿	
	提出者 住 所 枚方市中宮大池 1 丁目 1 番 1 号 氏 名 株式会社クボタ 枚方製造所 所 長 道 林 悟 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 072-840-1021
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社クボタ 枚方製造所
事業場の所在地	枚方市中宮大池 1 丁目 1 番 1 号
計画期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	26:生産用機械器具製造業
②事業の規模	製造品出荷額 : 135,787,00 万円/年
③従業員数	1351人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙参照

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙の通り			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	別紙の通り	t
	(これまでに実施した取組) ・ 廃プラ（廃プラスチック類）の有価物化 ・ 廃レンガ（陶磁器くず）の有価物化 ・ 廃木製パレット（木くず）の有価物化 ・ 廃プラ（粉体塗料）の有価物化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 有価物化の推進 ・ ブース汚泥（有機性汚泥）の脱水減容化		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 廃プラ、廃油、木くず等、処理ルート別に分別、保管している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 分別の徹底		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・現状、自ら再生利用なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・今後も自ら再生利用の予定なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙の通り t	t
	（これまでに実施した取組） ・汚泥脱水機の適正運転の実施		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙の通り	t

		(今後実施する予定の取組) ・汚泥脱水機の適正運転の実施
--	--	---

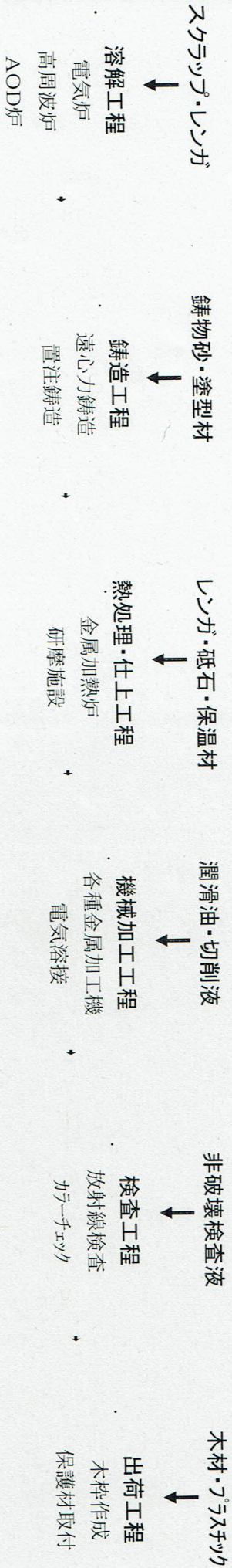
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・現状、自らの埋立処分、海洋投入処分なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・今後についても、自らの埋立処分、海洋投入処分の予定なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	別紙の通り	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙の通り	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙の通り	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙の通り	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙の通り	t
	（これまでに実施した取組） ・現状の委託処理業者に対しては、引続き定期的（1回/年）に処理状況の現地確認を実施。 ・新規に処理業者と委託契約を締結する場合は、事前に、処理状況の現地確認を実施し、問題がない事を確認した後に行う。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全 処 理 委 託 量	別紙の通り	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙の通り	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	別紙の通り	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙の通り	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙の通り	t
	(今後実施する予定の取組) ・新規の処理業者に委託する場合は、可能な限り優良認定業者を選定する。 ・現状の委託処理業者に対しては、引続き定期的（1回/年）に処理状況の現地確認を実施。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

鑄 鋼 品 製 造 工 程 産 廃 発 生 ・ 処 理 フ ロ ー



⑬	鉍さい(砂)
⑬	鉍さい(ノロ)
⑭	陶磁器くず

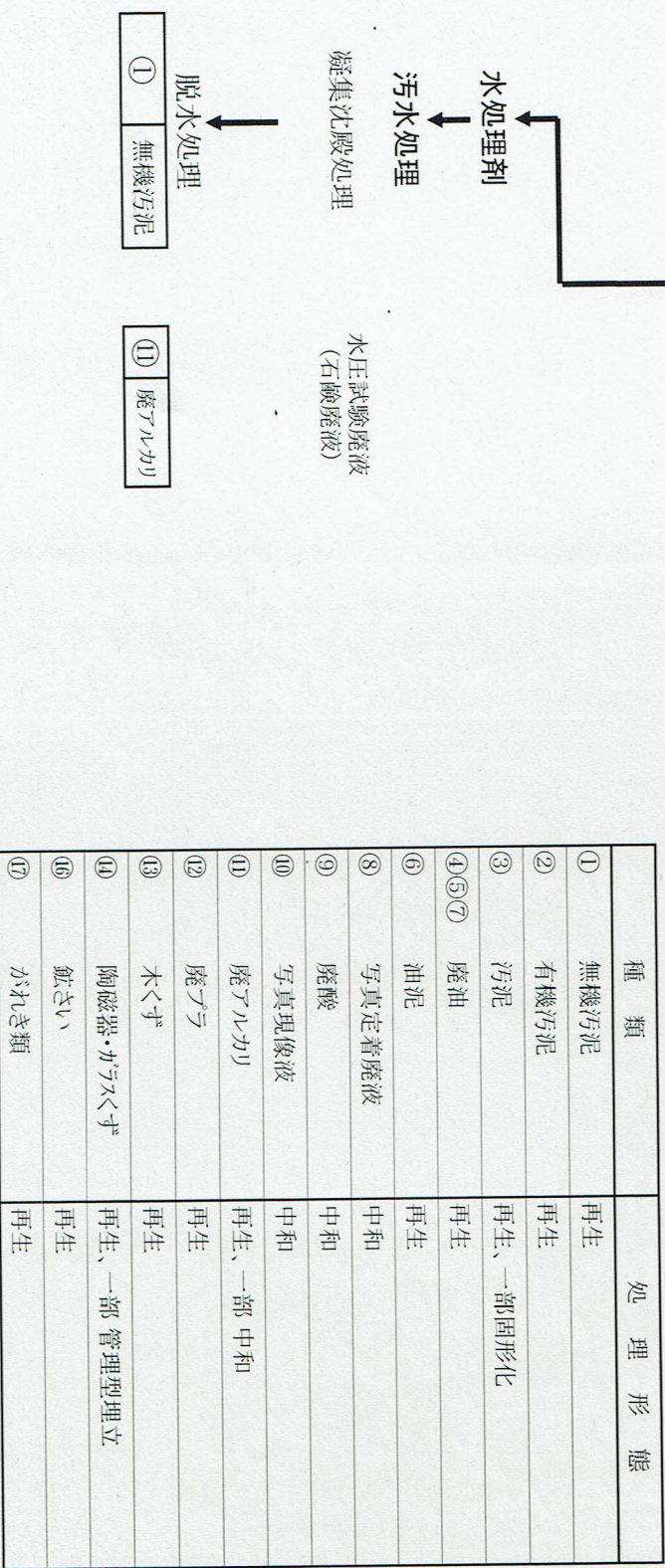
⑬	鉍さい
---	-----

⑬	鉍さい
⑭	陶磁器くず

④⑤⑦	廃油
-----	----

⑧	写真定着廃液
⑩	写真現像液
⑦	廃油

⑬	木くず
⑫	廃プラ



ポンプ・バルブ・建設機械 製造工程産廃発生・処理フロー

鋼板・鋳鍛工品
↓
裁断・板金加工
レーザー加工機
プレス機

溶接ワイヤー
↓
溶接加工
ロボット溶接
手溶接

非破壊検査液
↓
検査工程
放射線検査
カーチェック

珪砂・鉄粒
↓
表面処理
ショット・ブラスト
サンド・ブラス

潤滑油・切削液
↓
機械加工
各種金属加工機
油圧プレス

塗料・有機溶剤
↓
塗装工程
吹付塗装施設

⑫	陶磁器くず
---	-------

⑦	写真定着廃液
⑧	写真現像液

⑬⑭	鉱さい(砂)
----	--------

③④⑥	廃油
-----	----

⑩	廃メラ (塗料滓)
④	廃油 (廃塗料)

塗装ブース
清掃時汚泥

塗料・保護シート
↓

出荷工程
保護梱包
補修塗装

潤滑油・作動油・塗料
↓

組立・検査工程
試運転調整

珪砂・鉄粒
↓

表面処理
研磨施設

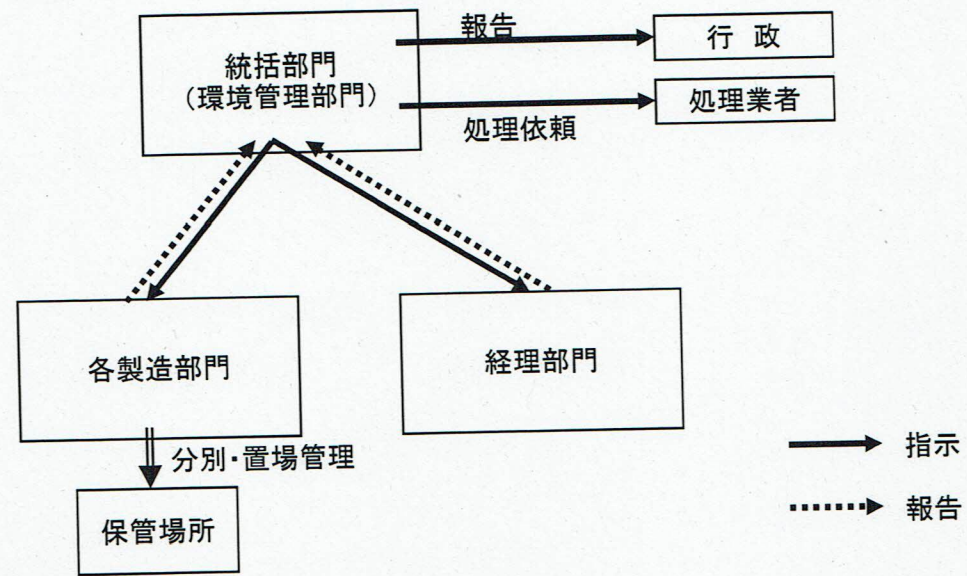
⑤	油泥
②	有機汚泥

⑩	廃メラ (塗料滓)
④	廃油 (廃塗料)
⑪	木くず

⑩	廃メラ (塗料滓)
④	廃油 (廃塗料)

⑬⑭	鉱さい(砂)
----	--------

【管理体制図】



【各部署の役割】

部署	役割
統括部門	・処理業者への処理依頼 ・産業廃棄物の発生から処分に至るまでの帳簿等を作成して統括的に把握管理 ・産業廃棄物の発生工程、種類ごとの発生量、排出量及び性状等のチェック、集計等 ・行政に対する報告等 ・処理業者委託の委託契約、委託量、委託伝票(マニフェスト)等の管理 ・産業廃棄物の適正管理及び減量化等に関する社内啓発 ・廃棄物の資源化・減量化及び適正管理について検討し産業廃棄物処理計画の策定及びその実施 ・産業廃棄物の分析及び環境事象の分析、測定等
各製造部門	・産業廃棄物の種類、性状、発生量及び排出量等の把握 ・保管施設での保管量の把握等 ・上記内容を統括部門に報告
経理部門	・産業廃棄物の適正処理費用の算出 ・委託料金の支払方法による業者管理 ・上記内容を統括部門に報告

提 出 者				
住 所	名 称	担当部署	担当者名	電話番号
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所		産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当部署の電話番号
大阪府枚方市市宮大池1-1		株式会社クボタ枚方製造所	業務部 設備・環境安全課	072-840-1021 072-880-2810

産業廃棄物の種類 コード 名 称	計 画 の 実 施 状 況									
	①排出量	②自ら直接再生利用した量	③自己直接埋立処分又は海洋投	④自ら中間処理した量	⑤④のうち熱回収を行った量	⑥自ら中間処理した後の残存量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後の再生利用した量	⑨自ら中間処理した埋立処分又は海洋投	⑩直接及び自ら
	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)	(g)	(h)	(i)	(j)
①無機性汚泥	1,665			1,604		115	1,489			176
②有機性汚泥	146									146
③汚泥	21									21
④鉱物系廃油	112									112
⑤廃油	196									196
⑥油泥	8									8
⑦一般廃油	131									131
⑧写真定着廃液	7									7
⑨廃酸	10									10
⑩写真現像液	3									3
⑪廃アルカリ	53									53
⑫廃プラスチック類	197									197
⑬木屑	401									401
⑭陶磁器くず	68									68
⑮スラグ	1,290									1,290
⑯鉱さい	308									308
⑰がれき類	2									2
合計	4,621	0	0	1,604	0	115	1,489	0	0	3,132

(注1)△未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

提出者				
住所	名称	担当部署	担当者名	電話番号
産業廃棄物を排出する事業場を統括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を統括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当部署の氏名	報告担当部署の電話番号
大阪府枚方市宮大池1-1-1	株式会社/オタ枚方製造所	業務部	設備・環境安全課	072-840-1021
				072-890-2010

産業廃棄物の種類		計																	
コード	名 称	①排出量	②自ら直接再生利用した量	③自己直接増立処分又は海洋投入処分した量(イ)	④自ら中間処理した量	⑤④のうち、熱回収を行った量	⑥自ら中間処理した後の残存量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後の再生利用した量	⑨自ら中間処理した増立処分又は海洋投入処分した量	⑩直接及び自ら自己処理した後の処理委託量(イ)	(単位＝①-②-③-④+⑥-⑧-⑨＝⑩+⑪+⑫+⑬+⑭+⑮)					⑰+⑱	⑲+㉑	
		(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	⑪再生利用業者への処理委託量(イ)	⑫熱回収認定業者への処理委託量(イ)	⑬熱回収認定業者以外の熱回収業者への処理委託量(イ)	⑭その他の中間処理	⑮増立処分委託量	⑯優良認定処理業者への処理委託量(イ)	⑰の量と⑱の量を合計したもの(自動計算)	⑲の量と㉑の量を合計したもの(自動計算)
022	①無機性汚泥																		
021	②有機性汚泥																		
020	③汚泥																		
031	④鉱物系廃油																		
030	⑤廃油																		
034	⑥油泥																		
031	⑦一般廃油																		
040	⑧写真定着廃液																		
040	⑨廃酸																		
050	⑩写真現像液																		
050	⑪廃アルカリ																		
060	⑫プラスチック類																		
080	⑬木屑																		
###	⑭陶磁器くず																		
###	⑮スラグ																		
###	⑯鉱さい																		
###	⑰がれき類																		
⑱																			
⑲																			
⑳																			
合計		4,574	0	0	1,588	0	113	1,474	0	0	3,100	3,000	0	89,428	10,931	0.792	1,365	0	0

(注1)トシ未満は原則として四捨五入、ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。